

■ 12月3日 (火)

今朝もみな元気に登校してきました。

昨日行われたクラス分けテストの結果のもと、今日からはそれぞれのクラスに別れてのレッスンが始まりました。先生方の中には日本の文化をご存知の方もいらっしゃる、漢字・ひらがな・カタカナをすべて覚えていないと読み書きができない日本語がいかに難しいかを話していたクラスもありました。

クイズ形式で質問文を考えたり答えを探したりする授業を行うクラスがあったり、一緒のクラスで学んでいる他国の生徒の記念日お祝いのケーキがサプライズで振舞われるクラスがあったり、小さな教室の中でも異文化交流を楽しんでいる様子です。

英語の授業を受けて3時間しか経っていないにもかかわらず、『今週だけでなく、もっと長い期間通いたい!』と日中の授業を楽しんでいた様子が見られました。教室内の他国の生徒たちもとてもフレンドリーで、一緒に写真を撮ったり、休憩時間におしゃべりしたり、教室の外で卓球やバスケットボールで遊んだりもしていました。



午後はスクール近くのシニアセンターへボランティア訪問が行われました。

アメリカと日本では公的健康保険制度が大きく異なり、日本では国民皆保険制度を導入しているが、アメリカでは受給資格がある人のみ公的医療保険制度に加入できます。

シニアセンターは、アメリカ人の思想のひとつである『いくつになっても自分らしく』生きるため、広い寝室やレストランのような食堂はもちろん、フィットネスセンターや図書室、談話室など、ホテルのようなシニアコミュニティがあります。

生徒たちはその一室を借り、部屋を訪問した住人の方へ日本の歌を歌ったり、折り紙と一緒に折ったり、お茶をたてたり、訪れた方々に楽しんでもらえるものを試行錯誤して披露していました。

